

養父市立養父中学校 令和5年度学校評価(学校自己評価・学校関係者評価)

令和6年3月18日

1 学校教育目標

しなやかな強さを持ち、協働的・創造的に活動する生徒の育成

2 本年度の重点目標

・「養父中ブランディング計画」を意識した学校運営と教育活動の創造的な推進
 ・確かな学力の定着に向けた指導方法等の工夫・改善と学習評価に関する実践的研究の推進
 ・共感的な生徒理解と毅然とした対応による生徒指導の充実
 ・タブレット端末を活用した諸活動の実施方法や指導方法等の工夫

4 総合的な学校関係者評価

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、少しずつコロナ禍前の学校生活が戻りつつある中で、教育活動についても本来のねらいに即して柔軟かつ多角的に検討し実践することができるようになった。このため、教職員による評価、保護者アンケートともに、前年度に比べて肯定的な回答が増えており、全体として改善傾向が見られる。こうした結果を踏まえて、学校運営協議会においても、「全体として十分に検討され、対策が練られた上での結果としてとらえている」「生徒指導を含め、様々な取組に小中一貫教育の観点が生かされている」「施設管理の面でも、年ごとに良好な状態になり、生徒の安心・安全につながっている」といった意見をいただいた。

特に、市事業「YABUスクールチャレンジ事業」を活用した「ふるさとに根ざすキャリア教育カリキュラム」の取組、制服のリニューアルに向けた生徒や保護者、地域からの意見聴取や合意形成の取組、学習指導・生活指導の両面に関する日頃からの小中の連携の取組について高い評価をいただくとともに、次年度でのさらなる充実に向けた助言と期待をいただいた。

継続的な課題として、学力の確かな定着に向けた学習指導と家庭学習の習慣化に向けた取組、生徒との教育相談体制の工夫等が挙げられる。少しずつ取組の効果は出てきてはいるものの、さらに研修を深めて改善方策を工夫し、より実効性のある共通実践につなげていきたい。

3 学校自己評価結果

〈 A:良好 B:概ね良好 C:さらに工夫が必要 D:抜本的な見直しが必要 〉

分野	評価項目	達成状況	学校の取組状況・改善の方策
小中一貫教育の推進	・取組の焦点化による共通理解・共通実践の深化 ・小中の協働的な活動による保護者・地域の理解の推進 ・小中のつながり・学びのつながりを踏まえた学習指導	A	・成果や課題の改善方策等が共有でき、実践交流も活発になった。 ・地域と連携し、小中合同のリサイクル活動を計画どおり実施した。 ・学年部会での実践交流を通じて、指導に一貫性を図ることができた。
危機管理体制の整備	・生徒の危機管理対応能力の育成 ・保護者・地域・関係機関と連携した危機管理体制の推進	B	・資料の活用や講師の招聘を通して、指導を具体的にを行うことができた。 ・警察と連携し、不審者対応の訓練を実施することができた。
教職員の資質向上	・授業の工夫改善、業務改善の積極的な取組の推進 ・課題を共有した校内研修体制の確立 ・生徒理解と指導技術の向上に関する研修の実施	B	・若手教員による研究授業や日常的な相談による支援に取り組んだ。 ・ノート指導や家庭学習の習慣化に向けて実践を共有して取り組んだ。 ・体罰根絶等の観点からも生徒との信頼を築く研修を必要に応じて行った。
施設設備の整備	・施設設備の安全管理体制の整備、安全点検の定期実施 ・学校環境の整備	A	・安全を優先に、修繕や新規設置に積極的に取り組むことができた。 ・教室の照度の低さが指摘されており、改善が大きな課題となっている。
業務改善 勤務時間の適正化	・学校業務改善(職員会議の効率化) ・勤務時間の適正化に向けた取組 ・生徒と向き合う時間、分掌業務・授業準備等の時間の確保	A	・校務運営委員会を必ず開催し、諸会議の効率と短縮に取り組んでいる。 ・ノー部活デー、水曜日の定時退勤に確実に取り組んだ。 ・年休や各種休暇の積極的取得と、各分掌で「しないこと見つけ」に努めた。
生徒指導の充実	・報告・連絡・相談の徹底と関係機関・家庭保護者との連携 いじめのない学校づくり(積極的認知と組織的な早期対応) ・よりよい人間関係・学級づくりに向けた実態調査結果の活用	A	・生徒指導部会等をごまめに開催し、早期対応につなげることができた。 ・いじめアンケート等を定期的に実施し、教育相談等が迅速に行った。 ・生活アンケートやi-checkを活用して学級経営の見直し・改善に努めた。
学習指導	・きめ細かな学習指導と学習意欲を高める授業づくり ・タブレットの活用を含めた指導法等の工夫改善	B	・積極的な相互参観による意見交流により、授業改善に取り組んだ。 ・デジタル教科書や過去問等による個別学習においてタブレットを役立てた。
道徳教育	・道徳実践力の育成 ・ローテーション授業の実施と道徳の評価の改善工夫	B	・生徒が自分事としてとらえられる授業づくりをさらに工夫したい。 ・ローテーション授業を通して、全員で授業改善を図る意識を高めることができた。
総合的な学習の時間 特別活動	・主体的な課題発見・解決につながる学習指導 ・主体性を育む行事の工夫改善と生徒会活動の充実	B A	・系統的なキャリア教育の推進に向けて「総合」の学習を重ねていきたい。 ・学校行事等、生徒の主体的な企画による活動運営を行うことができた。
キャリア教育	・高校入学選抜制度を踏まえた進路指導の充実 ・「そうあんくんの日」の取組を含むキャリア教育の研修の推進と実践化	B	・3年間を見通した体系的な進路指導となるように工夫を図っている。 ・「シン・そうあんくんの日」を設定し、自律的な生活への契機とした。 ・研修の機会を確保と、キャリアノート等の取組の工夫を図る。
人権教育	・自尊感情を育み、人権意識を高める指導 ・校是「生きるとは分かちあうこと」の具現化	A	・人権週間(人権作文の発表、映画鑑賞等)を実施し、充実を図った。 ・制服の変更を機に、今日的な人権課題について研修することができた。
特別支援教育	・個別的教育支援計画・指導計画に基づいた指導・支援 ・通級指導の工夫改善を通した「通級」への理解促進 ・SCやSSW、県立特支学校CO等との連携強化	B	・生徒の状況把握とその共有化により見直しを図り、実践化に努めた。 ・保護者とのこまめな情報共有により緊密化を図り、理解を促せた。 ・八鹿HP等の医療機関と必要に応じて連携する仕組みが整えられた。
情報教育	・ICT機器等の活用による指導方法等の工夫 ・タブレットの利用機会の促進とその価値付けの共有化 ・生徒の情報モラルの向上に向けた家庭との取組の強化	B	・ICT機器を活用し、学習の焦点化、可視化、共有化に役立てた。 ・タブレットを家庭に持ち帰らせる場合のねらいを明確にすべき。 ・PTAと連携し、実態調査の結果に基づく「親子学習会」を実施した。
国際理解教育	・国際理解、多文化共生の態度の育成	B	・身近に交流の機会もなく、取り組む動機付けに乏しいことが課題である。
福祉教育	・福祉体験活動の推進、高齢者・障害者の理解(人権意識)	A	・福祉体験活動、ふれあい郵便等、関係事業所と協働して実施した。
食育	・食育と給食指導の充実	A	・栄養教諭と連携して「6年生登校日」に実施するなど計画的に実施した。
SDGs推進	・環境問題等に関心を持ち、課題解決への意欲を高める指導	C	・取組を具体化できなかった。
健康教育	・健康に関する実践意欲を高める指導(食育や眼育の推進)	B	・実態調査を踏まえて食育や眼育、性教育の取組を具体的に進めた。

5 評価項目の学校関係者評価

自己評価の適切さ
・校区内の小中の共通実践と研修が進み、「縦のつながり」や「系統性」を意識した授業づくりや生活指導が推進できている。 ・「不審者対応訓練」が実施できたことは大きな成果である。次年度は「心肺蘇生法」についても実習したい。 ・非違行為の防止に向けて、年間を通して継続的な研修、啓発を望みたい。 ・年ごとによりよく整備されてきていることがよく分かる。生徒の安心・安全のために引き続き取組をお願いしたい。 ・業務改善の取組が進んでいることは理解している。一方で勤務時間の適正化については、さらに踏み込んだ取組が必要なのではないか。 ・不登校の増加とその多様化に根気強く適切に対応されていることを高く評価する。教育相談の体制についても、さらに工夫し、生徒との信頼関係を高めていってほしい。 ・家庭学習の習慣化に向けて各学年が「プロジェクト」を立ち上げ、生徒の実情に応じて取り組んでいる。成果を期待したい。 ・「シン・そうあんくんの日」を新たに設定して年間を通じて取り組んでいるが、成果や課題について生徒アンケートをとって考察し、次年度に生かしてみようか。 ・人権作文発表や啓発DVDの視聴等、人権週間を中心とした取組を今後も継続させていってほしい。制服の変更を巡る取組も、生徒たちが性の多様性について考える良い機会となった。 ・生徒指導上、生徒理解において特支の観点の必要性もあり、特支の観点から教育活動を工夫されていることがよくわかった。 ・タブレット活用の幅を広げるため、さらに研修と実践を積み上げてもらいたい。 ・国際理解教育の一環として市の国際交流員と日常的に交流されていることは素晴らしい取組である。Englishキャンプへの参加人数の多さにその成果が出ているのではないかと。

読書活動	・朝読書の充実(図書室の活性化)	A	・図書室の環境や蔵書の整備に努め、利用を活性化させた。	
------	------------------	---	-----------------------------	--